

-カウンターパート(イタリア・エルサルバドル)各国の動き-

エルサルバドルのみつばち保育所支援活動と共に国内での援助活動も行っています。現地からの報告です。



地震被災地で活動 (イタリア)

2012 年 5 月 20 日(日)朝 4 時ごろ、イタリア北部 Crevalcore 地域で M6 の地震が発生しました。少なくとも 10 人の死者、建物の崩壊など 2 次的被害によって多くの負傷者がでました。イタリアのカウンターパートである I Sant'Innocenti(児童を守る会)は地震発生後すばやく近隣の企業や人々へ協力を呼びかけ、被災地への物資援助や訪問を始めました。Crevalcore に住む友人と現地で出会った人々と共に、今もなお被災者の必要とする具体的な援助、物資の提供をホームページで呼びかけています。市役所に対し、被災者と共に災害援助を依頼し、復興に向けて精力的に働いています。

イタリア現地スタッフ マルコ・ロマーニ



próxima estación:
ESPERANZA

primera maratón a beneficio del aula de refuerzo escolar y humano "Las Abejitas"

Domingo 10 de junio
a partir de las 6.00 a.m.
partiendo desde el regional del frente al Price Smart Santa Elena
Costo por inscripción \$5



上: 大会開催を呼び掛けるポスター
下: マラソン大会の様子

第一回チャリティーマラソン開催 (エルサルバドル)

2012 年 6 月 10 日(日)、首都サン・サルバドルにて FUNDIPRO(見捨てられた児童のための援助協会)はマラソン大会を開催しました。みつばち保育所の事業運営費を集めるため、またこのイベントを通じ、市民の交流の輪を広げ、みつばち保育所の活動を多くの人たちに知ってもらうことが目的でした。“次の停留所は希望”というテーマは、私たちが希望を運ぶためにはどのような環境においても、近くにいる人と手をつなぎ協力するという意識が必要であることを強く感じているからです。

今回このマラソン大会を通して色々なグループや人々との交流の輪を広げることができました。例えば、イベントを幅広く PR するために、様々な機関にオリジナル T シャツ製作の協賛を呼びかけたところ、あるメディア関係者から賛同を得ることができました。

当日は、大きなお祭りのように人々が楽しくにぎやかなイベントとなりました。優勝者は中米青少年部門マラソンチャンピオンの少年でした。私たちのスタッフ

も参加し完走へ向け励ましあうことで、確かに人々との絆をつくることができました。互いが友情を育み、将来に向かって一歩前進したと実感しています。

エルサルバドル現地スタッフ
アンドレア・ロマーニ



文化講演会 報告

「原発を生きる敦賀市民の闘い
—市会議員として今やるべきこと
—今大地はるみの毎日—」

今大地はるみ先生をお招きして



1月22日(日)、敦賀市議として原発反対運動を続けている今大地はるみさんをお招きして文化講演会を開催しました。3.11以降のマスメディア・政府の原発事故への対応やご自身の原発反対運動についてお話してくださいました。今回は原発立地自治体に払われる交付金「原発マネー」についての内容を紹介しします。

原子力発電所には何がついてきたか。交付金です。それこそ原発マネーです。(中略)(敦賀市では)大体500億から600億の予算の中の13~15%が原発のお金で賄われていることになります。その原発マネーの使われ方、実はそれが一番問題なんです。平成15年から法律が改正し、色んな分野に交付金が使われるようになったんです。今までは建物にだけでしたから何に使われたかすぐわかりました。ところが、色んなことに使われることによって見えなくなってしまう。今、交付金が何に使われているかという自治体病院や公立保育園、公民館、健康管理センターなどよく考えてみたらほとんどが市民と直結している場所で働いている職員の給料です。そして、他にも小学校6年生の子ども達までの医療費、敦賀市内を走るコミュニティバスの運行経費も交付金に頼っているんです。(中略)本当は私たちはそういうお金を使いたくない、私は使っていないと言う市民の人は結構います。私は反対派だから原発のお金なんて使わないと思っている人がいるんですけど、実際はバスに乗れば動いているのは原発マネーだし、子どもは6年生まで医療費無料だから助かるわって思っているのもそれも全

部原発のお金なんですよ。お年寄りの皆さんへの支援の費用とか色んなことにお金が使われているから誰も避けて通れません。自分では原発マネーに頼っているつもりはないけど、そのお金を使っていることに間違いはないという現実があります。(中略)原子力があるがために交付金という美味しいお金が付いてきてしまいました。私たちは安易にそれをずっと使い続けてきたんです。そのために自分たちの頭で考えることが出来なくなりました。しなくなりました。何も考えなくても、政策を考えなくても交付金があるからどんどん進んでいくんです。敦賀の人たちは非常に市の財政は潤っています。だけど、私たちは自分たちの町をどうやって変えていこうとか、こういう町にしたいということを考えなくなりました。考えなくても福祉は充実しているしこれ以上何も望まなかったら何不自由なく暮らせるし。ひょっとしたら原発マネーで私たちが失った一番大きなものは「考える力」じゃないかと私は最近いつもそう思います。私たちに一番大切な「考える力」。それから「ノー」という言葉です。それを私たちはこの50年間で失ってしまったんだと思っています。

今大地はるみさんがアロイジオ賞を受賞！



アロイジオ賞授賞式にて(左から二番目)

この度、今大地はるみさんがアロイジオ賞を受賞されました。アロイジオ賞は平和や人権を守るために地道な活動続ける個人・団体に贈られる賞です。今年で7回目を迎えました。

◇今大地はるみ氏：

1950年 敦賀市生まれ。市民劇団の制作や中池見湿地のトラスト運動を経て、1999年統一地方選で敦賀市議となり、現在4期目。原発銀座といわれる福井県で反原発を訴え続ける市会議員として活動。

オリーブジャパン活動報告

■城北橋教会バザー■

● 2012年6月3日(日)、城北橋教会バザーに出店しました。朝からたくさんの方にお越しいただき、終始にぎやかな一日となりました。前日準備では城北橋教会の方々と共に机並べやテント設営をして交流を図ることもできました。

初めてスタッフとして参加しました!

開催時間まで「お客様とコミュニケーションを取れるのだろうか?」と期待と不安もありましたが、開始直後から多数のお客様が来店してくださり、大変嬉しい気持ちになりました。

昨年のバザーも来場してくださったお客様や、オリーブジャパンの活動に興味を持ってくださったお客様など、終始あたたかい雰囲気でもバザーを終えることができ、大変良い経験になりました。

(山本真利江・オリーブジャパンスタッフ)



上：城北橋教会の皆さんとオリーブジャパンスタッフ

■チャリティーマーケット■

2012年7月1日(日)、本山生協会館でチャリティーバザーを開催しました。この日は朝から強い雨が降りましたが、多くのお客様が来場してくださいました。今回のバザーは「洋服・雑貨商品コーナー」と「エルサルバドル紹介・文化講座紹介」の2部屋に分け、前回よりも広々とした空間で買い物を楽しんでいただきました。バザー中、絵画体験講座も開催し、楽しくおしゃべりしながら、時には真剣な表情で作品に取り組んだり、個性豊かなお花が描かれました。また別のコーナーでは、オリーブジャパンが月1回行っている南イタリア料理講座の写真を展示したり、楽しくアットホームな雰囲気の中で作る様々な料理を多くの方々に紹介することができました。

エルサルバドルの活動紹介では、エルサルバドルの地図やみつばち保育所の子どもたちの写真、工作作品の展示なども行い、訪れたお客様は普段なかなか耳にすることのない小さな国の紹介を熱心に見入って下さいました。バザーを通して、様々な活動報告とたくさんの方々との交流を深める良い一日となりました。



上：バザー会場の様子

右：絵画体験講座に参加した子ども達



収益金は、みつばち保育所へ送付させて頂きました。物品を提供してくださった方、買い物をしてくださった方、皆様のご協力に感謝致します。ありがとうございました。

オリーブ文化講座 洋画教室



講師 柴田先生の作品

※文化講座の収益金は、エルサルバドル
“みつばち保育所”の運営資金に使われます。

講師：柴田高良

イタリア国立ミラノ美術学院卒業
現在、柴田造形美術教室 主宰

日時：毎月第3・4土曜日
(PM5:30~7:30)

費用：月額 4,000 円

場所：本山めいきん生協生活文化会館
地下鉄東山線・名城線本山駅 4 番出口より徒歩3分



■洋画講座無料体験できます■

自分のペースで絵を描く楽しさを味わえる
アットホームな教室です。

絵画に興味のある方、
何か新しいことを始めたい方、
是非一度お越しください。

日程

7月28日(土) 8月 お休み

9月15日(土) 9月22日(土)

体験希望の方は下記までご連絡ください。

080-4306-1057 (山田まで)



会員募集

オリーブジャパンの活動に賛同していた
だけの会員の方を随時募集しています。

- ・ 賛助会員 (一ヶ月一口 10,000 円)
- ・ 正会員 (一ヶ月一口 5,000 円)
- ・ 協力会員 (一ヶ月一口 2,000 円)
- ・ 参加会員 (一ヶ月一口 1,000 円)
- ・ 同調会員 (一ヶ月一口 500 円)

郵便振込用紙に必要な事項と会員の種類、納入方法
(月払い/年一括)をご記入の上、会費を納入ください。

振替口座番号

00890-1-24582

会員の皆様には、会報「オリーブ・プレス」と
講演会、バザー等のご案内を優先的にさせていた
だきます。

*お問い合わせは、下記連絡先まで

オリーブ・プレス Vol.15 2012年7月発行

オリーブジャパン国際開発協力協会 olivejapan80@hotmail.com